

パソコンでレース編み

PictBear と「切り紙デザイナー」というソフトを使って、レース編みデザインを作ってみます。画面のキャプチャをおこなうので、キャプチャの手順がわからない場合は、事前に別テキスト（補助テキスト「キャプチャソフトの学習と、解説書の作成」など）で学習しておいてください。

1. 「切り紙デザイナー」のインストールと設定

Vector のページ (<http://www.vector.co.jp/soft/dl/winnt/home/se479023.html>) から、ファイルをダウンロードし、「切り紙デザイナー」をインストールします。

2. パターン素材の準備

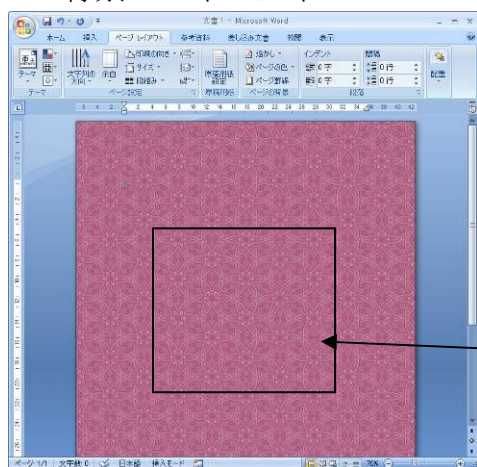
レース編みデザインの元になる素材を、準備してください。

「パターン素材」で検索すると、たくさん見つかります。

テキストでは、「ava7 patterns」(<http://patterns.ava7.com/>) からダウンロードした、→のような画像を使ってみます。



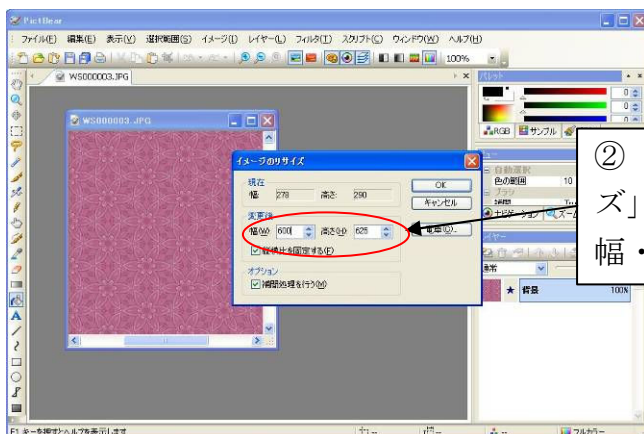
3. 背景のキャプチャ



①ワードを起動し、「ページレイアウト」タブ→「ページの色」→「塗りつぶし効果」の「図」タブで、「図の選択」をクリックし、2で用意したパターン素材を指定します。

②背景一面にパターン素材が広がるので、このあたりをキャプチャ。（なるべく正方形に近い形で）

4. 背景画像のリサイズ

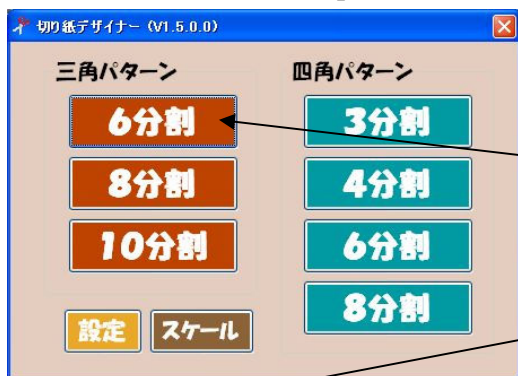


①PictBear で3の画像を開く。

②「イメージ」メニュー→「イメージのリサイズ」で、幅・高さのうち小さい方を600とし、幅・高さとも600ピクセル以上の画像にする。

③上書き保存。

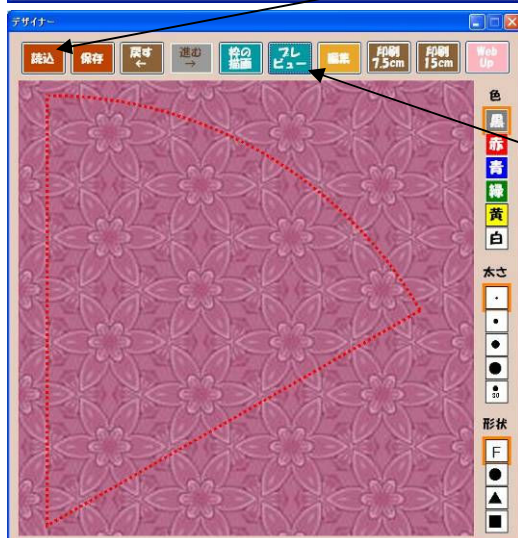
5. 「切り紙デザイナー」



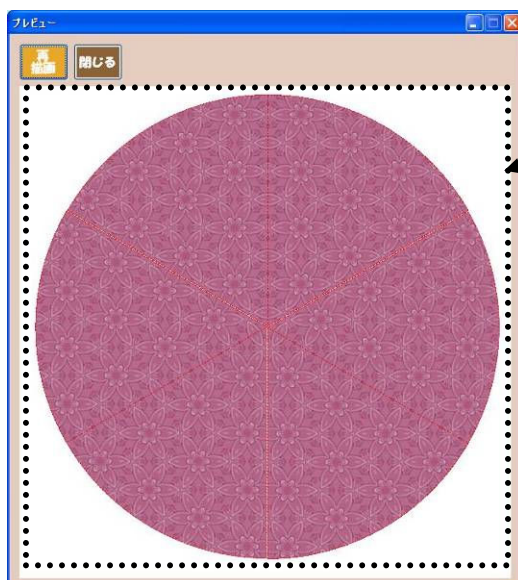
① 「切り紙デザイナー」を起動。

② 三角パターンの「6 分割」をクリック。

③ 「読込」で、4 の画像を開きます。
(画像形式に注意。たとえば、4 の画像が JPG なら、「ファイルの種類」を「JPEG ファイル」にする。)

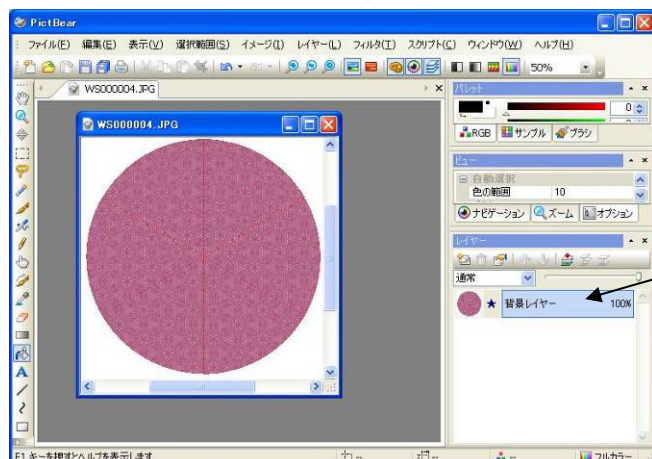


④ 「プレビュー」をクリック。



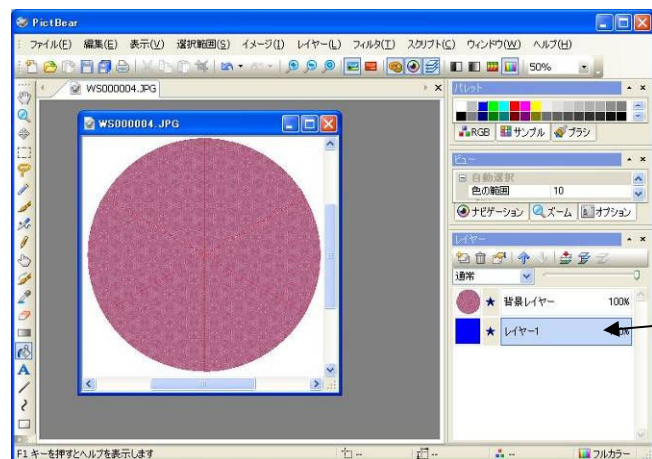
⑤ 円形部分を囲むように、キャプチャ。

6. レース編みデザイン化

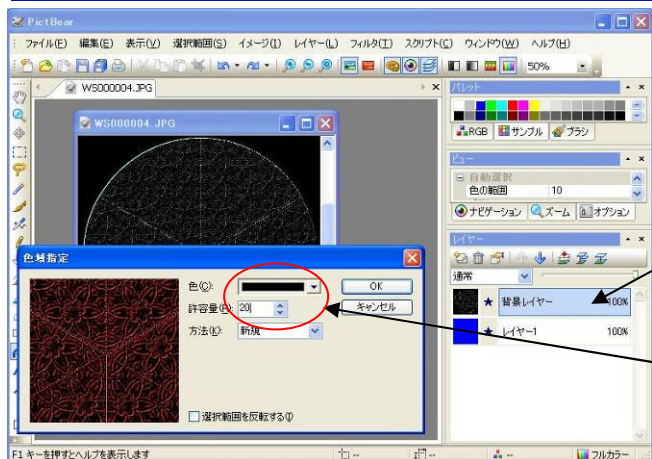


①PictBear を起動し、5⑤でキャプチャした画像を開きます。

②背景を右クリック→「背景からレイヤーへ」で、背景をレイヤー化します。

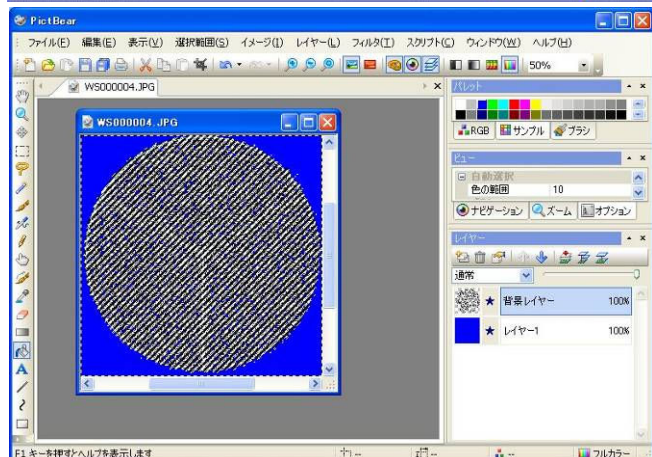


③「レイヤーの作成」で新しいレイヤーを作り、それを青で塗りつぶします。そのレイヤーを背面へ移動し、背景とします。



④図柄のレイヤーを選択し、「フィルタ」メニュー→「エッジ検出」→「プレウィット法」。

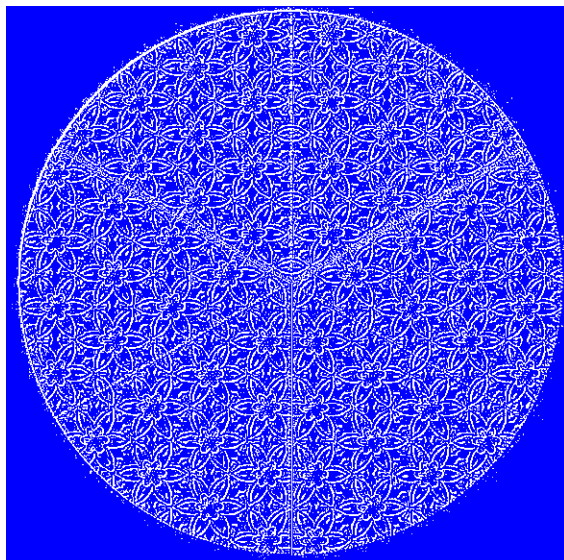
⑤「範囲選択」メニュー→「色域指定」で、色は黒、許容量はレース編みデザインが見える（およそ 20）程度に指定して、「OK」。



⑥Delete キーを押して、黒い部分を消去。

⑦「選択範囲」メニュー→「選択範囲の反転」で、レース部分を選択。

⑧描画色に白を選んで、「編集」メニュー→「塗りつぶし」。



レース編みデザインが、できあがりしました。
レイヤーを統合して、jpg や png 形式で保存すると、背景付きの模様になります。
青い背景レイヤーを削除して、png 形式で保存すると、背景が透明な画像として保存できます。

〔活用例〕

軽いマスキングとして使用すると、写真のイメージがだいぶ変わります。

